

予納された見込額からの残余の額の返還請求書の作成例

[書 式 1]

予納された見込額からの残余の額の返還請求書		
令和△△年△△月△△日		
特許庁長官	殿	
1 予納台帳番号	△△△△△△	
2 返還請求人(予納者)		
識別番号	△△△△△△△△△	
住所又は居所	東京都××区××△丁目△番△号	
氏名又は名称	××株式会社	
代表者	×× 一郎	
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
3 返還請求金額(残余の額)	△△, △△△ 円	
(4 添付書類の目録)		
	((1)予納をした者の地位を承継したことを証明する書面 通)	
5 返還金の振込先		
金融機関名	××銀行(金庫)	××支店
口座番号(普通、当座)	△△△△△△△	
フリガナ	××カブシキガイシャ	
口座名義人	××株式会社	

[注意事項]

1. 返還請求人(予納者)の欄には、予納台帳に係る予納者を記載し、押印(実印又は当面の間、特許庁に届けている印)ください。ただし、予納届をした者の死亡又は予納届をした法人が合併により消滅した場合は、その地位を承継した承継人を返還請求人として記載します。
2. 返還請求金額(残余の額)の欄には、予納された見込額の残余の額を記載します。
3. 予納届をした者の地位を承継した者が返還請求をする場合には、添付書類の目録の欄を設けて、添付する書面の書類名及び通数を記載し、地位の承継を証明する書面を添付します。なお、予納届をした者自身が返還請求する場合には、添付書類の目録の欄を設けるには及びません。
4. 口座名義人と返還請求人(予納者)は同一人でなければなりません。
5. 口座名義人の欄には必ず、片仮名で振り仮名を記載してください。
6. 電話番号はなるべく記載してください。